

天台宗一隅を照らす運動総本部ご支援  
ドゥアン・プラティープ財団  
《ニューライフ・プロジェクト》  
2025年度 活動実施報告書



ドゥアン・プラティープ財団

天台宗一隅を照らす運動総本部ご支援  
ドゥアン・プラティープ財団《ニューライフ・プロジェクト》  
2025年度 活動実施報告書

\*\*\*\*\*

### 「生き直しの学校」チュンポン校

薬物の影響を受けた児童・青少年、家庭からの養育放棄を受けた者、養育環境が不適切な者、ならびに経済的に困難な状況にある者について、6歳以上を対象として受け入れ、2025年度の受入児童・青少年数は34名。

#### 1. 各教育段階における一般教育（学習面）

児童・青少年の能力および発達段階に応じ、適切な教育機会を提供した。

##### 児童・青少年たちの教育段階別一覧（学校教育及び学校外教育）

教育段階	数(人)	備考
小学校 (1.1-6)	10	バーンタップマイ校 10人
中学校 (3.1-3)	13	バーンタップマイ校 10人 / パンヤーヌクン校 2人 学校外 1人
高等学校 (3.4-6)	7	ラメーウィタヤー校 2人 / パンヤーヌクン校 1人 学校外 4人
職業教育課程	4	チュンポーン農業技術専門学校 1人 スラータニー総合職業技術学校 3人
合計	34	



### 子ども・青少年育成活動

#### 1. 精神面の育成の促進

##### 1.1. 「愛と絆の日」の活動（6月25日）

恩師ならびに父母の恩に感謝する日として、僧侶への供養（食事、布施）を行うとともに、学業成績優秀な子ども・青少年に対し表彰を実施しました。なお、本年度は保護者の参加はありませんでしたが、軍関係者、警察官、教職員および地域リーダーを来賓として招いて実施しました。



1.2.倫理観の育成 就寝前の読経/ 児童・青少年を寺院に引率し、法話を聴き、善行を行う。



1.3.夏休み短期出家 8-13歳の男子6名が2025年4月8-25日、バンコクのワット・サパーン寺でシリントーン王女殿下のお誕生日記念に功德を捧げるために実施。



## 2.情緒面の促進

2.1.アートセラピー 児童・青少年がリラックスできるように、絵を描いたり色をぬったりする活動を行い、外部講師から基礎的な美術を学ぶ。



## 3.知的能力の促進

3.1.英語学習の推進 チュンブーン県ラマー郡のクローンソン校の教員を外部講師として招き、小・中学生をレベル別に分けて17時00分-18時00分まで授業を行い、話す・読む・書く力を中心に、ゲームや歌、会話などの活動を通して学ぶ。



### 3.2.青少年にポジティブ思考と心身の健康・安全に関する研修活動

2025年8月、国家健康保障事務署が研修を実施し、子どもたちは自分の健康の守り方や基本的な応急手当を学んだ。これらは日常生活にとっても役立つ内容であった。



### 3.3.規律づくりと前向きな習慣・意欲の育成

映画を選んで鑑賞し、毎週1回（土曜日）に小グループおよび全体で内容を分析し話し合う。



### 3.4.環境キャンプ活動（2025年4月27-30日）

ゴミの管理や環境保護に関する「7つの習慣」と性教育の研修を実施した。4月29日～30日はペチャブリー県で1泊2日の校外活動を行い、シリントーン国立公園やカオクリン刑務所（矯正施設）を見学した。5月1日に活動の総括を行った。



## 職業教育活動(職業訓練)

果樹園管理活動 (マンゴスチン/ドリアン/ロンコン等)

1.ドリアン 従来 62 本栽培していたが、新たに 22 本を追加植栽し、合計 82 本となった。このうち 40 本が結実し、収穫物を販売して収入を得ている。

2.ロンコン 総数 116 本

3.マンゴスチン 総数 270 本

4.ランブータン 総数 86 本

(本年の生産状況)

本年はロンコン、マンゴスチン及びランブータンはいずれも結実しなかった。これは開花期における多雨およびその後の乾燥など、気象の変動が生育および収量に影響したためであり、チュンポン県全域で同様の状況が見られた。

5.パパイヤ 計 500 本を植栽 (ケーキダム種 250 本、ホーランド種 250 本)



6.バナナ 新たに 500 本を植栽 (ナムワー種 300 本、レップムーナーン種 100 本、ホームトーン種 100 本)



## パーム園管理活動

1. アブラヤシ 前年度のアブラヤシの価格は中程度の水準で推移した。また、第 2 区画において 570 本の補植 (植え替え) を実施した。



2017年～2025年におけるアブラヤシ生産量の推移表

年	生産量 (kg)	収入 (バーツ)
2017	167,349	479,254
2018	166,400	354,590
2019	285,518	524,937
2020	257,320	780,389
2021	216,460	1,287,784
2022	258,470	1,796,814
2023	252,295	1,156,663
2024	243,315	1,171,057
2025	181,205	895,925

なお、プロジェクトでは総本部様の資金提供による予算支援で、児童・青少年を対象として以下の活動を実施した。

**絞り染め（タイダイ）制作活動** ワット・クンクラティン校の教員が講師となり、絞り染めの方法について講義および実演を行い、その後、手順に沿って実習をした。指導教員が直接指導した。



**カウンセラー・看護師による指導活動** ラマー病院のカウンセラーおよび看護師を招き、日常生活に関する指導・助言を受けるとともに、血液検査（抜き取り検査）を実施した。



**健康増進活動** 毎日5時30分～6時00分に運動を行い、17時00分～18時00分には自由参加によるスポーツ活動を行った。



**健康管理・医療対応活動** 日常の健康管理、医療対応、家庭用常備薬の購入、医務室の整備および薬品の種類別管理を実施した。体調不良時には職員が症状を観察した上で、必要に応じて医療機関に搬送を行った。



**生活必需品管理活動** 日常生活に必要な物品を適宜購入するとともに、貸出および支給の都度、記録を作成・管理した。



**地域連携活動** 児童・青少年が地域社会の発展活動に参加し、学校や病院等の外部機関と連携するとともに、近隣住民と農業関連活動に共同で参加した。



**基礎的職業教育活動** 児童・青少年が基礎的な職業技能を学び、「足るを知る経済」の理念に基づく生活力の向上を図った。

**1.無農薬野菜の栽培** 菜園で学習と実践を一体的に行い、食事用の食材として活用するとともに、プロジェクトによる買い取り制度を通じて経費控除後の収益を分配し、児童に30%の収入をもたらした。



**2.園芸作物／観賞用植物栽培** 挿し木、種まき、剪定などの技術について、実習を通して学習した。



**3.ヒラタケきのこ栽培** ヒラタケ栽培のための設備を整備し、新たに栽培ハウスを建てて担当職員が種菌の生育と栽培管理を行い、児童2名を常時配置して管理を担当させた。収穫した生産物は販売も行った。



**4.調理 / 菓子作り** 子どもや青少年が、日常生活で役立つ簡単な料理やタイのお菓子の作り方を学んだ。



**5.採卵鶏の飼育** ケージ方式で250羽を飼育し、あわせて地面を自由に動き回る放し飼い方式でも飼育している。現在、放し飼いの採卵鶏は200羽である。



## 「生き直しの学校」カンチャナブリ校

現在、子どもと若者たち 44 名が在籍しています。

### 子どもと若者たち 44 名の年齢別一覧

グループ	年齢(歳)	女性(人)	男性(人)	計(人)
女兒	2-12	13	-	13
男	7-20	-	12	12
年長女子	13歳以上	19	-	19
合計		32	12	44

### 子どもと若者に関する各種問題の状況一覧

	問題	人数	性別	合計
		(人)	女(人)	男(人)
1.	家庭崩壊 / 離婚 / 貧困	20	13	7
2.	薬物の影響	11	7	4
3.	虐待 / 性的被害	7	6	1
4.	要支援状態	5	5	-
5.	放浪・身寄りなし	1	1	-
計		44	32	12

学校教育および学校外教 41 人の子どもに年齢に応じた適切な教育を提供した。

### 子どもと若者の教育段階別一覧

教育段階	男/人	女/人	計/人
幼稚園 小学校 (5-12 歳) バーンタウンサーラー校	6	15	21
中学校 (13-16 歳) バーンガオ校	4	11	15
高等学校 (17-19 歳) バーンガオ校	-	-	-
高等学校 (17-19 歳) 仙台育英学園沖縄高校	-	2	2
職業訓練学校プラダーボ校	1	-	1
学校外教育	-	2	
教育段階別合計	11	30	41

- 知的障害者/未就学児	1	1	2
- 日本語能力試験 N4 の合否結果待ち	-	1	1
合計	12	32	44

本年度の子どもの受賞実績は以下の通りです。

#### バーントウンサーラー校

氏名	ニックネーム	学年
ファーマイ	ミミ	小学校4年

金賞（第1位）バーンガオ地区における学生芸術技能競技会の絵画（彩色）部門 2025年12月8日



氏名	ニックネーム	学年
ムーシィ・トーシ・オーンイエマー	ムーシィ	小学校3年

金賞（第1位）バーンガオ地区における学生芸術技能競技会の小学校第1～3学年での英語スピーチ競技 2025年12月9日

また、学術技能競技会への参加だけでなく、学校代表として陸上競技やドラムメジャー、チアリーディングなどのスポーツ大会にも参加した。



## 子どもと若者たちの育成活動

### 1. 知的能力の促進

1.1. 英語学習活動 学校が開いている期間中、放課後に月～金および土日に実施し、5歳から20歳までの子どもを年齢別に分けて指導した。



**1.2.「7つの習慣」研修活動** 2025年4月27-28日に外部講師を招き、10-20歳以上の子どもと若者39名を対象に研修を実施した。協働の重要性や目標設定および計画立案の方法を学んで、より効果的な成果を得るとともに、日常生活にも活かせるようにすることを目的とした。

**1.3.自己理解に関する研修活動** 2025年10月25-26日にセームシッカライ研究所（第9期チーム）により、子どもと若者を対象とした研修活動を実施した。



**1.4.生成AI活用した動画編集の研修活動** 2025年12月5-6日に、外部講師を招き、テクノロジー分野の学習を実施したアイデアを考える力やプロンプトの書き方、動画編集の技術を学び、学習や将来の仕事に活かせるようにした。



## 2.心理・精神面の促進

**2.1.「愛と絆の日」の活動** 2025年7月5-6日に、僧侶への食事供養を行うと共に、成績優秀な子どもと若者25名の表彰を行った。この活動は、子どもや若者が恩義ある人々への感謝の念を育むことを目的として実施した。



**2.2.夏休み少年短期出家活動** 2025年4月21-25日に8-13歳までの男子児童5名がバンコクのワット・サパーン寺院において少年僧として出家した。本活動はシリントーン王女殿下のお誕生日に合わせ、功德を捧げる目的で行われた。



### 3.情緒面の促進

**3.1.アート活動** 絵を描いたり色を塗ったり、クリスマスカード作り、粘土工作、折り紙、チョークでの彩色等の活動を行った。対象は5-25歳までの子どもと若者たち40人。



**ベーカリー活動** ケーキ、クラッカー、バナフィー、パンなどの作り方を学び、食べるだけでなく市場でも販売した。またタイ菓子や料理の販売も行い、毎週土日には調理指導員が1日3食の料理を指導した。



**農業教育活動** 無農薬野菜の栽培や観賞用植物の簡単な殖やし方、ハーブ園や学習用の畑作りを行い、子どもたちが協力して作業する力を育てた。活動は平日（月～金 16.30-17.20、土曜 9.30-11.30）に実施し、収穫した安全な野菜や果物を自分たちで食べる事ができた。



## 果樹園管理活動

**マンゴー園** キアオスアイ品種のマンゴーを中心に計 100 本を栽培し、水やり、草取り、肥料やり、成長促進剤（ホルモン）の散布、灌水設備の整備などを行った。

**ドリアン園** モントーン種、チャニー種、ムーサンキング種など計 80 本を栽培し、現在は 56 本が生育中で、水やり、草取り、肥料や成長促進剤の散布等、管理を行っているが、現時点ではまだ実をつけていない。



なお、プロジェクトでは資金提供のご支援をいただき、子どもと若者たちに以下の活動を実施した。

## 子どもと若者育成活動

**心理専門看護師との面談活動** 毎月第 2・第 4 土曜日にカンチャナブリ県のダーンマカムティア病院の心理看護師を招き、子どもたちの身体や知的発達の検査を行った。また、情動知能 (EQ) 評価も行い、個別の発達上の支援を行った。さらに視力検査や感情やストレスのコントロールについても指導した。



**動画を活用した思考及び対話活動** 子どもと若者に動画（VDO）を視聴させ、その内容について感想や意見交換及び討議を行った。活動は週末（土日）に行った。



**健康管理とスポーツ促進活動** 家庭用常備薬の購入や医務室の整備を行うとともに、健康増進のために運動・スポーツ活動を推進した。毎日 17.00 - 18.00 に自由にスポーツができる時間を設けた。



**職業教育活動（ハーブ石鹸作り・ビーズ細工）** ハーブ石鹸作りやビーズを使ったブレスレットやキーホルダー作りを、5-20歳の女子を対象に指導を行った。活動は毎週土曜日 14.00 - 16.00 に実施。



**アブラヤシ管理業務** 手入れ、草取り、肥料やり、灌漑設備の修理や点検、道具の修理などを行った。



**ナツメヤシ（デーツ）栽培** 水やり、草取り、肥料やりや成長促進剤の散布を行った。



**ヒラタケ栽培** 約 2,000 袋の菌床による栽培をを行い、収穫物は子どもと若者の食事に活用するとともに余剰分は市場の販売業者へ販売した。



**ライム栽培** 古タイヤを利用した容器栽培で 120 本を栽培し、収穫物は施設内で消費した。



**採卵鶏の飼育** ケージ飼育により 280 羽を飼育するとともに、放し飼いによる自然飼育として 200 羽を飼育した。



**堆肥生産活動** 自然由来の原料を用いた堆肥作りを行った。

